【開催報告】現場は「真剣」な空気に包まれていました – 1/20 創業準備ロングランセミナー（経営編）

分類：ブログ ｜ 投稿日：2026-01-23

こんにちは、おおいたスタートアップセンターの中本毅です。

2026年1月20日（火）、当センター主催「創業準備ロングランセミナー」の第1回目となる【経営】分野の講座が、大分県よろず支援拠点のご協力の下で開催されました。 今回は、当日のセミナーの様子と、創業予定者の皆様がこのセミナーを受講することで得られる「知識面」と「実利面」の大きなメリットについてご紹介します。



「真剣」な空気

今回のテーマは「創業計画書作成セミナー①（創業の目的、経営者の略歴）」。日本政策金融公庫の創業計画書を実際に書き上げるための第一歩となる重要な回です。

会場には、様々な年代・性別の10名を超える方々がお越しになりました。セミナー開始後の会場の雰囲気は、単なるイベントの「熱気」というよりも、講師の一言一句を聞き逃すまいとする「真剣な空気」そのものでした。参加者の皆様が集中して聴き入り、メモを取るペンの音が響く様子に、創業への強い覚悟を感じました。

主催者側で同席させて頂いている中で、受講者の皆様一人ひとりに丁寧に名札がセッティングされている点や、講師陣が手分けをして受講者の個別の話に耳を傾ける様子が深く印象に残りました。講義終了後も、講師への質問や受講者同士の交流が自然と生まれており、ここから新しいビジネスのつながりが広がっていく予感がしました。

受講の「知識的なメリット」：想いを「事業」に変える

このセミナーを受講する最大の知識的メリットは、頭の中にある漠然とした「やりたいこと」を、実現性を高め、金融機関や協力者を説得できる「具体的な事業計画」へと変換する手法を学べる点です。

１．「3つの円」で創業動機を整理する

講師から、創業を成功させる「Sweet Spot」として、以下の3つの要素が重なる領域を見つけることの重要性が解説されました。

・ Will（やりたいこと）：情熱を持てること、ずっと続けてきたこと。

・ Can（できること）：過去の職務経験、スキル、資格、人脈。

・ Need（求められていること）：世の中のニーズ、地域課題の解決。

２．趣味からビジネスへの転換

特に印象的だったのは、「お菓子作りが好き」という動機を例にしたワークです。単に「店を持ちたい」とするのではなく、「市販品にはない優しい味を求める層への提供」や「地産地消への貢献」といった、顧客や社会への貢献（Need）を含めた「創業動機」へとブラッシュアップする具体的な書き方を学びました。

３．客観的な分析手法（PEST・SWOT）

人口減少などの社会情勢（PEST分析）や、自社の強み・弱み（SWOT分析）を整理し、客観的なデータに基づいた戦略を立てるフレームワークも習得しました。これにより、「思い込み」ではない「勝てる計画」を作ることができます。

受講の「実利的なメリット」：創業を後押しする公的な優遇措置

そして、創業予定者の皆様にとって見逃せないのが「実利的なメリット」です。このセミナーは、国の認定を受けた「特定創業支援等事業」に該当します。全4科目（経営・財務・人材育成・販路開拓）を受講し、大分市など県内の各自治体から証明書の交付を受けることで、創業時に以下のような強力な優遇措置を受けることができます。

１．会社設立時の登録免許税が半額に

株式会社を設立する場合、登録免許税が資本金の0.7%から0.35%に軽減されます（最低税額は15万円から7.5万円に減額されます）。

２．日本政策金融公庫の融資制度優遇

「新規開業・スタートアップ支援資金」を利用する際、特別利率（金利引き下げ）の対象となり、資金調達コストを抑えることができます。

３．創業関連保証の特例

無担保・第三者保証人なしの創業関連保証が、通常は創業2ヶ月前からしか利用できないところ、6ヶ月前から利用可能になります。これにより、余裕を持った資金調達準備が可能となります。

４．補助金申請の要件

小規模事業者持続化補助金の「創業枠」（補助上限200万円）への申請が可能になるなど、補助金活用の道も広がります。

おわりに

今回のセミナーは、創業者の「想い」を「言葉と数字」にするための第一歩でした。 当センターのスタッフ一同、皆様の創業準備を全力でサポートいたします。セミナーで学んだことを実際の事業計画書に落とし込む際の個別相談も随時受け付けておりますので、ぜひお気軽にお声がけください。

真剣な眼差しで受講された皆様のビジネスが、ここから大きく羽ばたくことを楽しみにしています！